

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			2025年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	・トイレの問題などがあり、座席配置を変えて工夫している。	・机の配置が難しく、トイレと利用者の座席が近くならざるを得ないため、改善が必要だと思われる。 ・トイレが1つしかなく、音が気になるという意見がある。 ・増築は不可能なため、机の位置で工夫が必要。 ・スペースのせまさ、しきりの甘さがあり相談室の声がよく聞こえてしまう。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・子どもの様子を全体的に見守られるよう、職員配置に気を付けている。	・今後も継続して行っていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・看板などの表示を行い、視覚的にわかりやすいようにしている。	・ホワイトボードに連絡事項がたくさん書かれてしまうことがあるので、今後は情報の取捨選択を行って表記していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・利用者の降所後、来所前に清掃内容を分けて清掃を行っている。	・サーバーの前のふきとりや、ものを布で隠すなどの配慮を行う。 ・床の汚れの清掃や物の整理に工夫が必要
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・時間を決めて利用者全員が利用できるようにしている。	・今後も継続して行っていく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・時間を決めて行っている。	・職員全員が最初から最後まで参加することが難しい場合は、また後日個別にお伝えしていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・期間を決めて行っている。	・職員全員にその内容や結果を共有し、改善につなげていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・情報共有に努めている。(時間の確保)	・共有の場に職員全員が最初から最後まで参加するのが難しい場合は、後日個別にお伝えしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		・今後も継続して行っていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・職員全員で研修が受けられるよう時間を確保して行っている。	・今後も継続して行っていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・予定通り行われている。	・今後も継続して行していく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・面談等で得た情報は職員間で共有し、計画に反映している。	・今後も継続して行っていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員全体でケース会議を行ったり、面談での内容を共有している。計画に反映できるよう、共通認識で作成に努めている。	・情報共有の時間の不足が感じられるため、可能な時間帯を設定して共有していく。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・作成した計画は支援員全員がすぐに確認できるようにしている。また、支援内容を考える際も、計画に沿った支援を実施している。	・すべて出来ているかと言われば出来ていないので、都度見直す必要がある。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・職員全体で共有しながら行うようにしている。	・発達検査の結果を支援員全員が確認し、支援に活かすような話し合いの場が必要である。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・職員間で現状できる範囲で共有しながら作成している。	・情報や経験が不足しているため、まだまだ不十分。質のある協議を重ね、利用者の希望に沿った具体的な目標や支援内容を設定していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・可能な限り職員全体で共有している。	・今後も継続して行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・可能な限り職員全体で活動の振り返りや見直しを行っている。	・今後も継続して行っていく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・本人の特性や支援内容によって個別活動・集団活動を分けて行っている。	・今後も継続して行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・可能な限り職員全体で打合せができるようにしている。	・担当の職員任せにしてしまっている部分があるので確認ていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・可能な限り職員全体で活動の振り返りや見直しを行っている。	・情報共有の時間の不足が感じられるため、可能な時間帯を設定して共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・担当した職員をはじめ、職員間で気付きを挙げて記録を残している。	・今後も継続して行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・個別に面談を行うなどして、見直している。	・今後も継続して行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	・事前に確認しながら活動内容に合わせて設定している。	・今後も継続して行っていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・選択肢を提供したり、本人のご意向を確認しながら活動できるようしている。	・今後も継続して行っていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・担当を決め、子どもの情報共有を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・通っている高校と連携して、情報共有を行いながら支援している。	・今後も継続して行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		・必要に応じて、今後も連携を図っていく。
地域の児童発達支援センターとの連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		・必要に応じて、今後も連携を図っていく。

関係機関や保護者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・複数の同年代の利用者のいる放課後等デイサービスと交流する行事を実施している。	・保護者および利用者本人との連絡が不足し、計画的に進められていない状況があった。現在、密な連絡をとり、ご安心に感じさせないよう配慮している。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		・必要に応じて、今後も連携を図っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・毎年、複数日を設定し「保護者会」として行っている。	・参加者が少なく、決まった保護者のみの参加となることが多いので、都合がつけやすいよう早めの案内や内容の周知を行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	2	・面談時や保護者来所時に保護者へ説明を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・本人および保護者へ面談を通して行っている。	・今後も継続して行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・本人および保護者へ面談を通して行っている。	・今後も継続して行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・支援員間で保護者への説明の十分さにばらつきがあったため、共通認識をもてるように話し合い等を行った。	・今後も継続して行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・毎年保護者会を実施し、保護者が交流しやすい環境や相談しやすい環境を設定している。	・参加者が少なく、決まった保護者のみの参加となることが多いので、都合がつけやすいよう早めの案内や内容の周知を行っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・職員間での共有をはじめ、すみやかに苦情内容について協議し、対応している。	・今後も継続して行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月サニーサイドを発行したり、毎週末にはブログを通して情報を公開している。	・今後も継続して行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・本人および、保護者に丁寧な情報共有や相談援助を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		・今後も必要に応じて行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・研修を行い、職員一人ひとりが意識できるようしている。また、面談時にその旨を保護者へ周知している。	・今後も継続して行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・研修を行い、職員一人ひとりが意識できるようしている。	・今後も継続して行ていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者や本人の申し出があれば対応している。また、急な服薬があるときは、事前に保護者へ確認してから行っている。	・今後も継続して行っていく。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食物アレルギーの調査を行うと同時に、飲食に関する活動があるときは、事前に保護者へ連絡し、相談している。	・今後も継続して行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・研修を行い、職員一人ひとりが意識できるようしている。	・今後も継続して行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・子どもの日々の様子をはじめ、面談時などにも説明し、共有を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・利用者の降所後、職員間でその日あつたことを共有し、記録を残している。	・今後も継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修を行い、職員一人ひとりが意識できるようしている。	・今後も継続して行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・今の所、身体拘束を行う必要のある利用者はいない。今後も、必要に応じて本人や保護者と十分に協議を重ねたうえで行う。	・今後も継続して行っていく。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家魚住東放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間		2024年 8月 8日	～ 2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間		2024年 8月 8日	～ 2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放デイ内に同年代の利用者が多く在籍している。	・コミュニケーションをとりやすいよう、グループ活動やペア活動を多く取り入れている。	・今後もさまざまな関わりが持ちやすくなるような活動を提供していく。
2	知識・経験が豊富な長期勤務の支援員が在籍している。	・個々に応じた対応が出来るように知識・経験を生かした支援を行っている。	情報共有をより一層行い、長期勤務の職員から得た知識を元に新しい職員でも正確な判断と行動ができるようにしていく。
3	秋祭り等のレクリエーションを取り入れており、個人の成長が期待できる。また地域との交流ができる。	・秋祭りに向けての準備を施設一丸となって行っている。出店や制作物の展示を通して利用者が得意としている所をさらに伸ばす機会に繋がったり、苦手としている部分を自信に繋げる事が出来ている。	・今後も地域の方々に活動の様子を知っていただけたり、個人個人が活躍できる場を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・自力通所に限定している所がある。	・地域を絞らず様々な居住地から募集を募っている為。	・自力通所が出来るかどうかを保護者本人と面談の際に話し合っている。施設利用開始の前に本人の不安を取り除けるよう、ならし通所を取り入れている。
2	・療育室および相談室内の狭さやしきりの甘さ、トイレの位置の問題。	・もともとの建物内の構造による。	・増築や改修工事などは不可能なので、座席の配置等で対応していく。
3	・保護者会等の参加者が少ない。	・保護者会の実施などのイベントの案内がおよそ1か月前にされているため、保護者の都合がつかない。	・開催の案内をもっと早く行い、また、その内容についても周知していくことで来所頂けるよう努める。

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 令和7年2月1日						
		利用児童 数 16 回収数 16						
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	3	1	・人数に対してのスペースが狭いと思う。 ・学習する分はいいと思いますが、生徒、先生全員が集まれば少しそういかなと思います。 ・水泳の時間ががあればなどか。	・療育室内の整理整頓や物の配置等の見直しを継続して行い、子どもたちの座席配置等も見直しながら、子どもたちの日々の活動内容に応じた活動場所の確保を今後も行っていきます。また保護者来所時には見学いただきご要望があれば適宜出来る範囲で配置を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1	・多いと思うくらい配置している。	・今後も、面談時や保護者の来所時に職員配置について説明を行い、国の定める基準に十分に達している事をお伝えし、周知徹底していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	4	2	1	・環境は問題ないと思いますが、この暑さの中、冷蔵庫の使用が不可になったのは厳しいです。	・季節に応じ空調を整えていると共に、施設の設備上保護者にご協力いただきたい部分は面談時にお伝えしていきます。 ・建物の構造上パリアフリー化が難しい所もありますが、障害特性に応じて階段部分の付き添い、道路への飛び出し等安全面を考慮した支援を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1	3	2	・トイレの位置がみんなの目の前で入りにくい時があると思う。特に女の子は抵抗があるのでないでしょうか。 ・狭いと思います。	・お手洗いを利用しやすいよう、視界に入りにくい座席配置を工夫して実施します。また、今後も随時、見直しながら対応していきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1	・受けていると思うのですが、スローステップなので結果として、本人の力になっているかが見えにくいのでそこが難しく思います。 ・障害の程度の差があると思う。 ・子供の性格や特性等をよく観察されている。	・集団療育の中で、子どもたち一人一人が日々達成感や満足感を得られるような支援を考え、今後も行っていきます。また継続して、日々の子どもたちのご様子を、療育内容として記録し、電話でもご様子を保護者へお伝えしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	2		・お便りの配布、面談時にカリキュラム内容のお伝え、毎月配布しているサニーサイドなどを通じて、今後も保護者へ周知徹底していきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	1	・こちらからの要望の前に的確な支援計画の立案を出していただける。よく理解されていると思う。	・今後も、ご本人と保護者の意見を伺い、新しい通所支援の内容もお伝えした上で作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	1	0	・こちらからの要望の前に的確な支援計画の立案を出していただける。よく理解されていると思う。	・今年度から新しくなった支援計画も、今後もご本人と保護者の意見を伺いながら、適切に作成していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	・思う。	・今後も適切な支援を行い、普段の内容も面談やお電話にてお伝えしながら支援内容を工夫していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2	1	2	・子供が飽きないよう工夫されている。	・今後も、毎月必ず新しいカリキュラムを導入し、子どもたちの様子やニーズに合わせた支援を行っていきます。また、サニーサイドなどでその旨を周知徹底していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	2	3	8		・希望に応じて、今後も検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	1		・面談時や保護者の来所時に十分な説明を行い、より一層周知徹底していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	1		・今後も、面談時により分かりやすく丁寧に説明を行っていきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	2	2		・面談時に年間スケジュールをお伝えすることで、保護者が参加しやすいようにしていきます。保護者の様々な状況に合わせる為、複数の日程で今後も開催のお知らせを行っていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	14	1	0	1		・保護者との連絡ノートでのやり取りで、日頃から情報共有を行っています。また必要に応じて電話やメールを用いてその日の様子を伝え、共通理解できるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	1	0		・今後も必要に応じて保護者へ子どもの様子を細やかにお伝えし、保護者の意見も伺いながら一層相談援助を行います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	2		・今後も必要に応じて保護者へ子どもの様子を細やかにお伝えし、保護者の意見も伺いながら相談援助を行います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	2	4	・保護者会は開催されているが、参加者が少なく保護者同士の交流がほとんどない。情報交換ができるれば良いと思います。 ・兄弟向けのイベントに関してはご要望があれば検討していきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	1	2	・この度は息子のことで相談させて頂いた時に今後の社会生活で必要になる療育を加えて下さる事など、本当に感謝しています。	・ご本人や保護者からの要望があれば対応しています。今後も面談時などを通じて、必要に応じてこちらが相談窓口となり迅速に対応していくことを周知徹底していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	1	0		・本人と保護者へ、今後も面談やお電話を通して分かりやすく細やかな情報共有を行います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0		・利用者の方にも声掛けを行っていき、ご家庭での話題作りの一つとなるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	1	2		・保護者の面談時や来所時に個人情報取り扱いに対する説明を行い、今後も周知徹底を行っていきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	1		・今後も保護者の来所時や面談時に各種マニュアルやその研修・訓練について説明し、周知徹底していきます。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1		年間を通して計画を立て、月に一回非常時に備えて訓練を行っています。また、必ず振り返りを行い、反省点を法人全体のミーティングで報告し改善に努めています。また、災害用伝言ダイヤル(171)を利用した訓練などの実施案についてお伝えもしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2		・マニュアルを用いて日々様々な状況に対応できるよう訓練・研修を行っています。 ・法人車に置き去り防止装置を設置し安全管理を徹底しています。保護者に面談時に周知していきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	2	・すぐに連絡は来ましたが、学校と本人からのお話が違っていたので心配になりました。	・今後も、事故や怪我などがあれば、緊急時対応マニュアルに基づいて保護者へ詳細を速やかに対応・連絡・説明をして
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・先生が優しく声をかけてくれるといいつも教えてくれます。ありがとうございます。 ・毎日通所を楽しみに通っている。	・今後も、子どもたちが安心して通えるよう、継続して支援していきます。
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	5	1	0	・毎日通所を楽しみに通っている。	・子どもたちの日々の楽しみに繋がるよう、カリキュラムや個別療育を実施し、毎日の声掛けを行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	1	0	・小さな事ですが、毎月の利用料を引き落としにして欲しいです。	・子どもたちの成長に繋がるよう、これからも工夫した支援を行います。 ・利用料引き落としにつきましては検討させていただきます。